



真 誠

学校だより No. 7
西東京市立田無小学校
令和7年 11月28日



広げよう かかわりの「輪」

校長 鈴木 優介

令和7年もいよいよ師走を迎えることとなりました。毎年この時期になると、日本漢字能力検定協会による「今年の漢字」が話題になります。その年にあった出来事や人々の思いを漢字1字に表すという企画で、30年も続く年末の恒例イベントとなっています。「今年の漢字」が始まったのは1995年。この年に選ばれた漢字は「震」でした。甚大な被害が出た阪神淡路大震災が起こったことをご記憶されている方も多いのではないかと思います。2010年は夏の「暑」さが極まり、全国の平均気温が観測史上最高を記録して、熱中症にかかる人が続出しました。2011年は東日本大震災が起こり、助け合うことの大切や身近でかけがえのない人との「絆」を実感した年でした。2020年は、コロナ禍を象徴する「密」の字が選ばれたことは、私たちの記憶にも新しいところです。このように「今年の漢字」を集めてみると、その年の世相が思い出されたり、当時の自分を振り返ったりすることができます。また、今年はどんな漢字で表せば総括できるだろうか、このような出来事があったからこの漢字ではないだろうか等、それぞれが自由に予想できる場所も楽しいです。漢字の意味や世の中の動きにも関心が高まるので、国語や社会科の学習にも効果的です。

ここで、本校の一年間を振り返り、田無小学校の「今年の漢字」を考えてみたいと思います。極めて個人的な意見ではありますが、私は「輪」を選びたいと思います。

コロナ禍が収束して以降、教育現場においても、人と人のかかわりの「輪」は確実に広がってきました。その顕著な例こそ、コミュニティ・スクール(CS)による「輪」だと考えます。田無小はCS3年目を迎え、日々の授業の中に地域の方が参加したり、子どもたちが地域に出かけて学習したりすることも日常的なものになってきました。たくさんの地域の人たちや自然とかかわる中で、子どもたちの学びはより深いものとなり、様々な課題を自分事として考えるようになりました。

子どもたち同士のかかわりの「輪」も拡大しました。2学期から始めたロング昼休みは、クラスや学年の垣根を越えた異学年交流を活性化しています。また、子どもたちが自分たちの力や特技を発揮できる場として始めた「TANASHIライブ・パフォーマンス」は、毎回大勢の子どもたちが会場に集まり、それぞれのパフォーマンスに大きな拍手を送り合っています。そして、1学期に開催された「天下一ジャンケン王決定戦」と現在開催中の「天下一計算王決定戦」。これらのイベントは、学校中の子どもたちが楽しくコミュニケーションを取り合ったり、計算力を競い合ったりできる全学年共通のイベントとして、田無小の教育活動に新たな彩りを添えてくれました。

さて、大屋根の「輪」が象徴的だった「大阪万博」が開催された2025年もあと少しで終わり、間もなく新しい年が幕を開けます。2026年はイタリアのミラノとコルティナ・ダンペッツォで開催される冬季五「輪」を皮切りに、3月には野球のWBC、6月にはサッカーのW杯など、スポーツの国際大会が目白押しです。来年はきっと、世界中に歓喜と熱狂の「輪」が生まれる年になることでしょう。そのような世界の大きな「輪」にも視野を広げつつ、田無小学校では、これまでに築き上げてきた「かかわりの『輪』」を大切にしながら、来年度以降も力強く教育活動を進めていきたいと考えています。そして、学校から家庭、地域へと、子どもたちを温かく包み込む「輪」を、更に大きく広げていくことを目指します。

12月の主な行事予定

1	月	避難訓練
2	火	安全指導 ロング昼休み
3	水	午前授業 持久走キャンペーン開始
4	木	クリーンアップ大作戦(3) 全校集会
5	金	保護者会(5)(6) クリーンアップ大作戦(2) 午前授業(わ)
8	月	保護者会(3)(4) まちなか先生(6)
9	火	保護者会(1)(2) クリーンアップ大作戦(4)
10	水	午前授業 研究授業(4)
11	木	保護者会(わ)
12	金	ロング昼休み

15	月	委員会活動
16	火	持久走キャンペーン終了
17	水	全校集会
18	木	笑顔プロジェクト(4~6)
19	金	ロング昼休み
22	月	クラブ活動
23	火	午前授業
24	水	午前授業 給食最終日
25	木	終業式 午前授業

※今月のスクールカウンセラー来校日は、1日、8日、15日、22日です。相談のある方は、来校日に直接又は、担任を通して申し込むか、来校日のAM9:00~9:20に 463-5902(相談室直通)または学校に連絡してください。

算数少人数から 算数少人数 渡邊 美理

田無小学校では、3年生は4月より、4・5・6年生は11月から順次、算数科で習熟度別指導による学習活動を行っています。児童の習熟の様子に応じて、3～4つの学習集団に分かれ、それぞれのペースに合わせた学習を進めています。

授業では、発展的な内容に挑戦する「深めるコース」、多様な問題にじっくり取り組む「広げるコース」、基礎・基本を確実に身につける「かためるコース」など、それぞれの学びを大切にできるようクラス編成を行っています。

同じ単元を学びながらも、内容の深まり方や進度に応じて活動を工夫することで、子どもたち一人ひとりが自分にあったペースで意欲的に学習に取り組む姿がみられます。

すべての児童が教科書の基礎的な問題を確実に解けるようにすることを目標とし、一人ひとりの理解や課題に寄り添いながら、「わかった!」「できた!」という喜びを大切に、意欲と自信をもって学びを進められるよう取り組んでいます。

3年生から 3年生担任 浅山 光一

10月18日(土)に食育授業を公開し、3年生はカルシウムに焦点を絞った授業をしました。強い体を作るために、普段からバランスの良い食事と生活習慣を心掛ける事が大事だと話しました。カルシウム摂取に最も良い食材は、骨を丸ごと食べられる小魚で、アジ・イワシ・ワカサギ等がおすすめです。また、魚は強い旨味や様々な栄養を含んでおり、見た目にも食卓を華やかにする素晴らしい存在です。寿司・刺身・干物・天ぷら・塩焼き・あら汁・骨煎餅、他にも鰹節・塩辛・魚卵など、日本が世界に誇るバラエティ豊かな魚食文化を、これからも大切にしていきたいものです。

釣って楽しく、眺めて美しく、捌いて楽しく、食べて美味しい魚の良さを、今後もより多くの人に伝えられるよう、我々は頑張っています。ご家庭でも、折に触れて食材について話題にいただけるとありがたいです。

音楽会を終えて 音楽会担当 室岡 宗一郎

先日の音楽会には、多くの保護者の皆様にご来場いただき、誠にありがとうございました。子どもたちは、この日のために学年で力を合わせ、毎日の練習に取り組んできました。本番では、緊張する姿も見られましたが、練習の成果を存分に発揮し発表する姿がとても印象的でした。

今回の音楽会のスローガンは「心を燃やし 音の花火を奏でよう」でした。代表委員会が考えたこのスローガンには、それぞれの個性を大切にしながら一つにまとまり、きれいな音を奏でるという思いが込められています。合唱や合奏は、自分が強く出すぎると全体の音がくずれてしまいます。逆に、遠慮しすぎると本来の響きが伝わりません。自分の力を発揮しつつ、周りとのバランスをとることが音楽ならではの「難しいけど面白い」部分だと考えています。今回の音楽会では、どの学年も心をつににした素晴らしい発表となりました。きっとどの学年も仲間と協力しながらいろいろな課題を乗り越えてきたのではないのでしょうか。

休み時間に聞こえていた鍵盤ハーモニカやリコーダーの音色がなくなってしまったのは少し寂しいですが、これからも素敵な音の花火を奏でていけるよう学習に励んでいきます。

持久走キャンペーン 体力向上部 小田 花音

本校では、子どもたちの体力の向上を目指して、「持久走キャンペーン」を行います。12月3日から16日までの期間中、各学年5回ずつ実施する予定です。無理のない自分に合ったペースで、3分間コースを走り続けます。動きを持続する能力を高めることと、自分に合ったペースで走ることができるようにすることを目指して取り組みます。

適度なランニングを定期的に行うことで、身体的にも精神的にもよい効果が期待できます。この取り組みをきっかけに体を動かす機会を増やしていき、体力を向上させていけることを期待しています。健康的な体づくりのきっかけになればと思います。

期間中、子どもたちが万全な状態で持久走に取り組めるように、朝食をしっかり食べる、脱ぎ着しやすく動きやすい服装で登校するなど、ご家庭でもご支援いただけたら幸いです。